

# 安 全 報 告 書

(2014年度版)

北近畿タンゴ鉄道株式会社

## 『はじめに』

当社は、上下分離による鉄道事業再構築に取り組んでおり、本年4月1日から第三種鉄道事業者として鉄道施設を保有し、維持管理を行い、運行事業は第二種鉄道事業者であるWILLER TRAINS株式会社が行うとともに、当社からの委託により施設・車両の保守等を行っています。

鉄道事業にとりまして、最も重要なことは「安全の確保」です。ご利用いただく皆様のかげがえのない「命と財産」を運んでいるという使命感をもって、日々安全・安定輸送に努めています。

本年度は、鉄道事業再構築の初年度として、運行事業を担われる事業者と緊密な連携を図り、なお一層の安全確保に努め、皆様の信頼に応えられるように、また、皆様に愛され地域に貢献する鉄道を目指して取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態を公表するもので、御一読いただき、ご助言、ご意見をくださいますようお願い申し上げます。

北近畿タンゴ鉄道(株) 代表取締役社長 松村憲次

## 安全に関する基本方針

社員一同安全第一の意識を持って、安全管理規程をはじめ各種規程を遵守するとともに、安全に関する行動規範に基づき、社内に安全風土、安全文化を構築します。

### 基本方針

当社は、安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、社長以下社員全員に安全にかかる行動規範として周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱をします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

## 26年度事故等の発生状況

### 1 鉄道運転事故

宮津線において、岩滝口駅を発車した上り普通列車が霞谷踏切上に停車していた軽トラックと衝撃する踏切事故が発生した。

### 2 輸送障害

#### (1) 部内原因

ヒューマンエラーによるものが6件発生しているが、そのうち信号違反や徐行通告失念が発生している。保安装置故障2件、車両故障25件、合計33件(25年度27件)の輸送障害が発生した。

#### (2) 部外原因

列車妨害、保安装置障害に加え、踏切支障、列車支障など、全体では9件(25年度9件)発生した。

#### (3) 災害原因

大雨、強風、大雪での運転見合わせなどの運転休止や30分以上列車が遅れた事象が18件(25年度18件)発生した。また、鹿、猪等による支障が、412件(25年度501件)発生した。

### 3 インシデント

列車乗務員に対する雨による徐行規制の通告を失念し、一部駅間を所定速度で運転する事象があった。

### 4 行政指導等

25年度に引き続き、26年度も行政指導はなかった。

## 26年度に実施した「安全確保」の取り組み

### 1 ハード対策

項 目	具 体 策
木柱のコンクリート化	峰山～網野間 40本
警報機、遮断機等の更新	峰山～網野間 第二生野内踏切
コンクリートまくら木化	宮津～天橋立間 270本
軌道道床(砕石化)	宮津～天橋立間 87m
レール交換(50T から 50N)	丹後大宮～峰山間 711m
線路側溝改良(伏び)	野田川～網野 3カ所
信号機更新(LED化)	西舞鶴 5基 四所 9基 東雲 8基
障害物検知装置の新設	峰山～網野間 第二生野内踏切 1組
多重搬送電話装置の改良・更新	西舞鶴～宮津間

### 2 ソフト対策

- (1) 異常気象への対応をよりスムーズに行う為に宮津駅運転指令教育として、伝令法、連動図表、解放テコ取扱訓練、異常時の指示方について延70名の社員に対して実施した。また、突発的な、降雨、風、雪、地震等発生時の訓練も4回実施した。
- (2) 急速な世代交代に対応するため、駅6名、車両検修1名、施設4名、電気3名の新規採用とともに安全教育を行った。また、駅社員から車掌へ4名、運転士3名を養成し、運転士のEC転換養成も2名実施した。
- (3) 天橋立駅の運転担当者のプロパー社員2名について、天橋立駅運転に係わる規程関係から具体的な入換作業方、合図、達類の抜粋方法等に至るまで基礎教育を実施した。
- (4) 当社と宮津警察署、宮津与謝消防組合との合同テロ対策訓練を宮津駅宮福線ホームにて開催し、組織間連携について大きな成果を得た。(3月18日)
- (5) 冬季対策及び触車事故防止について、除雪要員対象者の駅社員、本社及び

運転士科社員並びに、除雪協力員を対象に除雪マニュアル及び、触車事故防止要領の説明会を行った。

- (6) 西舞鶴運転所検修社員について、車両のベテラン講師による月2回の勉強会を開催し、車両検修の実務能力向上を図っている。
- (7) 内燃車整備標準の基本契約（新規）により、支給材等新整備標準を精査し、平成27年度夏試行に向け委託業者と調整に入った。
- (8) 故障個所のファイリング化の勉強会を開催し、メンテナンス履歴の共有ファイルを作成し検修業務に反映した。
- (9) 踏切事故防止運動においては、「中ノ丁」踏切において広報活動を行った。また、管内106箇所踏切総点検を行った他4種踏切では付近の雑草木を伐採し視認性の向上を図った。
- (10) 工務職場では「触車事故防止要領」勉強会、災害・夏期警備マニュアルの確認と留意点の周知を図り、他山、自山の石を活用した検討会等により社員の事故防止意識向上を図った。又、冬期体制としてラッセルの取扱訓練及び試運転を実施し、積雪時の安全、安定輸送に万全を期した。

## 27年度「安全確保」の計画

平成27年度は上下分離による鉄道事業再構築に取り組む初年度として、特に運行事業を担う「WILLER TRAINS 株式会社」に鉄道設備及び車両の維持修繕を委託していることから、より緊密な連携を図り、安全安心な運行事業を推進します。

また、運行事業を担うWILLER TRAINS株式会社が行う技術継承や安全教育の強化など、安全が文化として根づく組織風土づくりと連携を図ります。

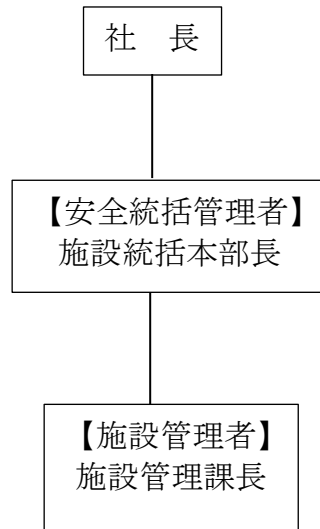
### ハード対策

項 目	具 体 策
木柱のコンクリート化	峰山～夕日ヶ浦木津温泉間 68本
自動列車停止装置（ATS）新設 （速度照査用）	西舞鶴～天橋立間 80個
コンクリートまくら木化	宮津～天橋立間 640本
軌道道床(砕石化)	天橋立～小天橋間 352m
鋼橋りょう（鋼桁）の改良	西舞鶴～四所間 新川橋りょう 峰山～網野間 矢立橋りょう
レール交換(50Tから50N)	峰山～網野間 1,672.3m
線路側溝改良（伏び）	与謝野～かぶと山間 5カ所
連動装置（補助制御盤更新）	峰山1組
列車無線設備更新	移動局63局 遠隔制御含む
自動閉そく装置(信号機LED化)	丹後由良・栗田・宮津・峰山36基
遠隔放送装置更新	宮津駅 放送装置 一式
発車標取替（LED発車標）	宮津駅 発車標
設定器及び端末機の取替(Dis 車両)	Dis(8000形)車両 10両(5編成)
基礎ブレーキ装置の改修(KTR 車両)	KTR(700.800形)車両 3両

# 安全管理体制

社長を最高責任者とし、それぞれの管理者の責務及び権限を明確にしたうえで安全確保の役割を担い安全を推進します。

## 1 安全管理体制



## 2 主な管理者の役割

役 職	役 割
社 長	全社的な安全管理体制の確保及び安全意識の徹底を図り、輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者 (施設統括本部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
施設管理者 (施設管理課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、ご意見をお寄せください。

ご連絡先 北近畿タンゴ鉄道株式会社

電話・FAX 0772-25-1679

受付日時 月～金 9:00～18:00(土・日・祝日を除きます。)